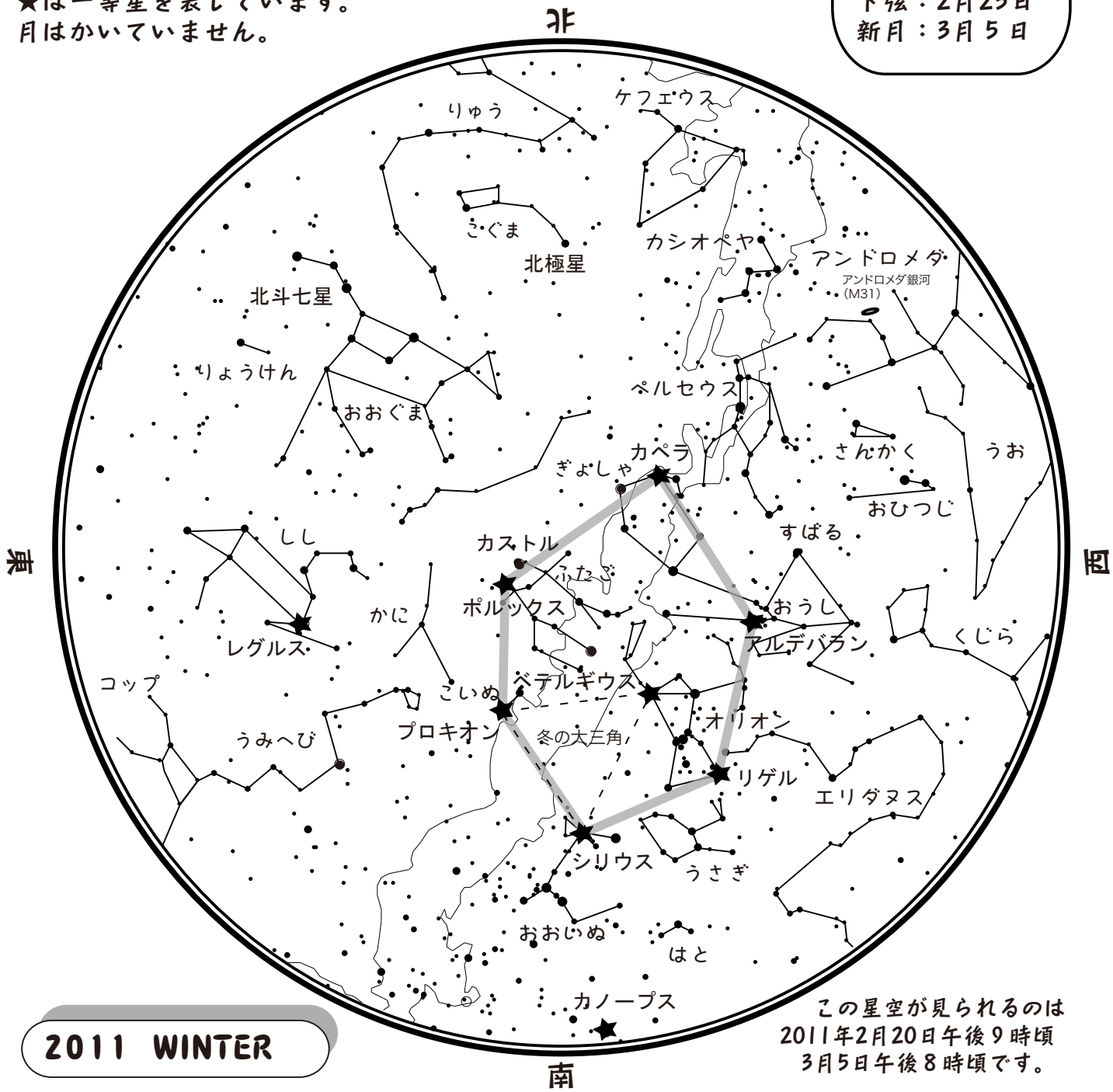
★姫路で見る2月後半の星空★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

満月：2月18日
下弦：2月25日
新月：3月5日



この星空が見られるのは
2011年2月20日午後9時頃
3月5日午後8時頃です。

2011 WINTER

南の空に見える砂時計のような星並びが、オリオン座です。狩りをするオリオンの右肩にはベテルギウス、足首ではリゲルが輝きます。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを結びできるのが「冬の大三角」です。冬の大三角から少し見上げると、ふたごの兄カストルと弟ポルックスの星が仲良く寄りそって見えます。頭の上には五角形の星並びのぎょしゃ座があり、一等星のカペラが目立ちます。また、オリオン座の右隣にはおうし座の姿があり、目には赤く輝くアルデバランがあります。

冬の一等星をリゲル→シリウス→プロキオン→ポルックス→カペラ→アルデバランと順番にたどり『冬のダイヤモンド』をつくることもできます。

キラキラとした冬の星空を見ていると、寒さも忘れてしまいそうです。暖かい格好で夜空を眺めましょう。